

# 健やか

# ライフ

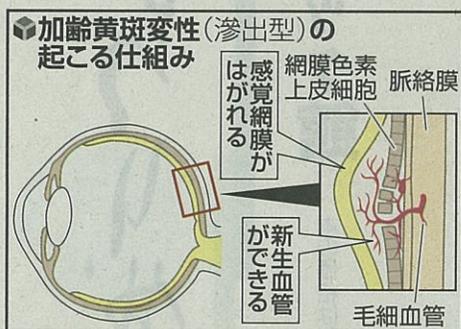
## 目の病気

### ① 加齢黄斑変性

網膜の中心にあるのが黄斑です。視力の数値は通常、黄斑での見え方を意味し、重要な役割を担っています。中高年者の黄斑に異常が出ることで、視力が低下するだけでなく、ゆがんで見えたり、視野の中心部が欠けたりするものが加齢黄斑変性です。

「萎縮型」と「滲出型」の2種類があり、日本人は滲出型が多いとされています。網膜に栄養を送る脈絡膜の毛細血管から網膜側へと、本来できるはずのない新生血管が伸び、光を感じる感覚網膜や、それを保護す

## 食生活の改善で予防も



る網膜色素上皮細胞が傷んでしまうのです。

治療法としては、新生血管の伸長を抑える薬を注射する方法が一般的です。視力をやや回復

させ、症状の悪化を止めた例も報告されています。微弱なレーザーを使って新生血管だけを破壊する光線力学療法もありま  
す。また、iPS細胞（人工多能性幹細胞）を使って、傷んだ網膜色素上皮細胞を補う臨床研究も理化学研究所で計画され、期待が高まっています。

新生血管が生じる原因は、まだよくわかっていませんが、加齢や喫煙などが大きな危険要因と考えられています。また、体内で活性酸素を作り出す脂肪分が多い食品も悪影響があるとみられ、食生活の改善が加齢黄斑変性の予防にもつながると考えられています。

（講師は、京都府立医大教授の木下茂さん。連載記事は、富山優介が担当しました）